

〔宣言文〕

第8回全国川サミットin肱川宣言文

私たちは、四国山脈の西のはずれに源を発し、いくつもの支流を集め瀬戸内海に注ぐ北四国最大の河川「肱川」のほとりに集い、「21世紀へのメッセージ“それは川から始まる”」を総合テーマに第8回「全国川サミットin肱川」を開催しました。

川は昔からその流域に住む人々に様々な恵みを与え、豊かな暮らしと文化を育んできました。しかし、近年の川を取り巻く環境は、効率優先、経済偏重の考え方から、環境資源の荒廃や都市と農山村の経済格差の拡大、流域の意思の隔たり等、様々な問題や社会の歪みが生じてきています。

このことを踏まえ、今回のサミットでは、21世紀に向けたあるべき自然との共生や、地域社会及び流域のよりよい関係づくりについて話し合いました。

そして、「全国川サミットin肱川」を記念し、全国の川を愛する人々とのさらなる交流と、美しい川が次世代に引き継がれることを願って、次のことを宣言します。

1. 豊かな自然や美しい川を大切にし、水を育む森を守り、川を活かした町づくりを進めます。
1. 川の豊かさ厳しさを歴史から学び、自然と調和した災害に強い町づくりを進めます。
1. 川によって培われた潤いのある生活、文化を次世代に引き継ぎます。
1. 川を通して流域の人々と交流を深め、よりよい地域づくりを進めます。
1. 美しい水と緑の国土をつくるため、全国の川を愛する人々と友好を深めます。

平成11年10月16日

第8回全国川サミットin肱川参加者一同

代表 肱川町長 大野 和